

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～次の・・・問いに・・・答えなさい～

令和6年度がスタートしました。・・・

さて、質問です。次のこの通心(信)でよく紹介している ひすい ことろう さんの本(「あなたの人生がつまらないと思うのなら、それはあなた自身がつまらなくしてるんだぜ。」(ディスカバー21)のプロローグを読んで、問いに答えてください。

かつて、僕らのご先祖さんたちが夜空を見上げていた時。

「ねえ、ねえ、この星とあの星を結んでいたら・・・ライオンのように見えない?」

そう盛り上がって名付けられたのが・・・「しし座」です。

「あれとあれを結んだら、絶対さそいでしょ!」

と盛り上がったのが・・・「さそり座」です。

星はただそこにあるだけです。でも・・・そこにワクワクするような想像を働かせて、

星と星を自由に結び、夜空に絵を見出し、夜空にドラマを見出していったのが・・・星座の歴史です。

人生もいっしょ。現実がそこにあるだけです。

面白くない現実を、どう面白くおかしくとらえるのかは・・・あなたの「視点」にかかっています。

問題が問題なのではなく、それをどうとらえるのが本当の問題です。とらえ方はいくらでも自由に変えられます。

「事実というものは存在しない。存在するのは解釈だけである。」 by フリードリヒ・ニーチェ



では、本題です。次の問いに答えましょう!

～「2匹の狼が闘っています。1匹の狼は・・・『恐れ』・『怒り』・『嫉妬』・『エゴ』の象徴。

もう1匹は・・・『喜び』・『平和』・『愛』・『希望』・『信頼』の象徴。勝つのはどちらですか?～

ひすい ことろう的な答えはね・・・うんとねえ・・・教えてほしい?・・・ちゃんと自分の答え考えた?

では・・・答えはね・・・次の ネイティブ・アメリカンに伝わる話を読んでから・・・

2匹の狼が闘っている。

1匹の狼は・・・『恐れ』・『怒り』・『嫉妬』・『放漫』・『恨み』そして『エゴ』の象徴。もう1匹は・・・『喜び』・『平和』・『愛』・『希望』・『思いやり』そして『信頼』の象徴。この2匹が闘っている。

ひとりの子どもがおじいさんにたずねます。

「Which wolf will win?」

おじいさんは、静かに答えた。

「・・・The one you feed.」



この世界にあるものは、すべてが誰かがそう望んだから存在しているものばかりです。

いま座っている椅子も、ペンも、お弁当箱も、服も、デザインした人がそう望んだとおりのものが存在しているのです。だからこそ・・・不安でなく・・・希望を選ぼう! 恐れではなく・・・ときめき、ワクワクを選ぼう!

「現状がこうだから・・・」「いままでこうだったから・・・」というできない理由ばかりを探して、未来を描いたり、想像するのではなく・・・「**本当はこうなりたいんだ**」と想像(イメージ)した未来を選ぼう!

では・・・いよいよ・・・問いに対する ひすい ことろう さんの答えです。・・・もうわかりますよね。

「君が選ぶほうさ!」 君が見たいほうが、君が選ぶほうが・・・現実になるんです。

令和6年度がスタートしました。

本当の自分が**ときめく**・・・**ワクワク**する・・・自分の旗を自分で掲げてみよう!